

環境・食・文化の研究拠点を目指して

— 三重大学伊賀研究拠点の活動報告 —

社会連携研究センター 産学連携コーディネーター

人 見 一 晴

1 はじめに

三重大学伊賀研究拠点の目的は、伊賀市内をはじめとする企業の高度化や新産業の創出を実現するため、三重大学の有する「知」と企業や地域が有する「地域資源」が、人・もの・情報・知識の各段階で有機的に連携・協働し、伊賀地域の地域活性化に資する伊賀版産学官民の連携を図ることである。

基本テーマは「環境・食・文化」であり、新技術・新商品開発研究などを軸として新産業の育成を図るとともに、文化的啓発活動を通じて地域活性化に貢献することになっている。

平成21年4月3日三重大学伊賀研究拠点が入居する「産学官連携地域産業創造センター（ゆめテクノ伊賀）」の竣工式が関係者の出席のもと執り行われ、伊賀研究拠点もこの日から名実ともに活動を開始した。

地方都市と大学が連携して拠点を設け、新産業の育成を図るとともに、文化的啓発活動等を通して地域の活性化に貢献するという全国にも稀な取り組みとして活動を開始したところであるが、この1年間の活動について報告する。

2 セミナー・研究会

① 三重大学産学官連携セミナーin伊賀

伊賀研究拠点の活性化と産学官連携の促進を図るためセミナーを開催した。

○第1回（H21・7・3 於：サンピア伊賀）

基調講演①

「食品企業における品質保証と企業内分析センターの役割」

講師：サントリー(株)品質保証本部・副本部長

安全性科学センター所長 但馬良一

基調講演②

「産学官連携による機能性食品の開発」

講師：三重大学理事・副学長（研究担当）

（社会連携研究センター所長）鈴木宏治

講演①

「伊賀市菜の花プロジェクトにおける産学官連携の現状と課題」

講師：伊賀市産業振興部

農林振興課 主幹 小林康志

講演②

「三重大学伊賀研究拠点の創設と展開」

講師：三重大学・生物資源学研究科

教授（伊賀研究拠点所長）前田広人

○第2回（H22・1・29 於：サンピア伊賀）

報告①「伊賀研究拠点の活動報告」

— 現地準備事務所から拠点へ —

三重大学社会連携研究センター

准教授（伊賀研究拠点副所長）山本好男

報告②「上野高校SPP成果発表」

「三重大学PBLセミナー成果発表」

講演①「教育は百年の計」

— 出前授業と理科実験にかける第二の青春 —

講師：三重大学・伊賀研究拠点

客員教授 加藤 進

講演②「エコライフと伊賀焼き」

講師：長谷製陶株式会社

代表取締役 会長 長谷優磁

講演③「食と健康」（退官記念講演）

講師：三重大学・生物資源学研究科

教授 田口 寛

② 伊賀先端テクノロジー研究会

企業や大学が取り組んでいる先端研究について、研究者、地元企業関係者や市民等を対象にセミナーを実施した。

開催日時 平成 21 年 9 月 25 日

基調講演①

『北京オリンピックの 100m, 200m 競技で優勝したボルト選手が常食するジャマイカンヤムイモの機能性』

講師：タカラバイオ㈱前社長 加藤郁之進

基調講演②

『がん免疫療法の実用化を目指して—産学連携による三重から世界への発信』

講師：三重大学学長顧問

(三重大学名誉教授) 珠玖 洋

③ 環境健康学研究会

化学物質などの情報収集、健康への影響等について産学官民で研究活動を行うために、みえメディカル研究会の一研究会として立ち上げ、研究会を開催した。

○第 1 回 (平成 21 年 11 月 13 日)

特別講演「環境要因による健康影響に対する新たな対策—化学物質問題を例として」

講師：千葉大学大学院医学研究院

環境生命医学 教授 森 千里

○第 2 回 (平成 22 年 2 月 19 日)

講演①「健康を理解するための病態生化学」

講師：滋賀医科大学 医学部

教授 大久保 岩男

講演②「化学物質の胎内ばく露がもたらす発達の異常」

講師：三重大学大学院 医学系研究科

教授 成田 正明

④ BDF セミナー (菜の花プロジェクト勉強会)

伊賀市が推進する菜の花プロジェクトについての勉強会を実施した。

・第 1 回 (平成 21 年 7 月 17 日開催)

・第 2 回 (平成 22 年 3 月 3 日開催)

⑤ その他

・ みえ尾鷲海洋深層水利用促進研究会 in 伊賀 (平成 21 年 10 月 20 日開催)

3 共同研究・受託研究等

地元企業等との間で次のテーマの共同研究・受託研究を実施した。()は担当教官。

- ・調理機会を通じた子供の成育調査研究(磯部)
- ・鹿の肩肉及び内臓等の有効活用研究(山本)
- ・獣害実態調査及び鹿肉等の活用方法に関する研究(山本、磯部、平島)
- ・ヘドロ底質の改善に関する研究(前田)
- ・おかみさんブランド商品の改良・分析・研究(磯部、山本)
- ・簡易工法による湿田の乾田化研究(山本)
- ・伊賀の集客力向上についてのアンケート調査(山本)
- ・バイオマス利活用高度化に関する調査・研究(前田、王、大原、加藤)

4 連携・支援活動

伊賀市、三重県産業支援センター等関係機関と連携し、各種セミナー・研究会を開催するとともに、未来を担う子供たちに科学技術への興味を深めてもらうため、県内小学校への出前講座の実施(9校)、「ゆめテクノ伊賀こども大学」の開催、上野高校の SPP への協力などを行った。

また、企業からの技術相談(45社)に対応するとともに、「ものづくり中小企業製品開発支援事業」に協力し、2社が採択された。

さらに、「ゆめテクノ伊賀」内に設置され

たインキュベーションルーム(5室)の入居企業に対し技術支援等を行った。

- ・伊賀市菜の花プロジェクト(伊賀市)
- ・資源循環研究会
(三重県産業支援センター・サポート研究会)
- ・獣害対策研究会
(三重県産業支援センター・サポート研究会)
- ・食・農・いのちの市民講座「食を考える」
(JAグループ三重)
- ・知的財産活用セミナー
(中部経済産業局・伊賀市)
- ・農商工連携セミナー
(中部経済産業局・伊賀市)
- ・伊賀市文化フォーラム2009(全6回開催)
(三重大学・皇學館大学・伊賀市)
- ・上野高校SPP
遺伝子組換え体験講座—光る大腸菌を作ろう!
上野高校3年生の生物履修生を対象に実施。
- ・三重大学PBLセミナー
「伊賀の観光を考える」をテーマに、生物資源学部1年生による課題探求型学習として実施。

5 イベント出展・参加

伊賀研究拠点の認知度を高めるため、各種イベント等に出展・参加した。

- ・中外医薬生産(株)夏祭り(7・31)
- ・市民夏のにぎわいフェスタ2009「楽座」(8・23)
- ・三重県関西連携交流会(8・27)
- ・KNS collaboration 伊賀2009(10・17)
- ・上野ガス・ガス展(11・1～3)
- ・みえ産学官研究交流フォーラム(11・6～7)

6 大型備品の整備

伊賀研究拠点がオープンラボとして機能するには、先端機器の整備は重要な要素であり、以下の大型備品を購入した。

- ・ 蛍光X線分析装置 1台

- ・ ガスクロマトグラフ 2台
- ・ 蛍光分光光度計 1台

7 運営経費の確保

伊賀研究拠点が機能していくためには運営経費の確保が重要である。平成21年度においては、文部科学省の「特別教育研究経費(連携融合事業)」に採択され、専任教員等の人件費、研究活動経費、セミナー開催経費等に充当した。

また、平成21年度補正予算の「教育研究高度化のための支援体制整備事業」に採択され、研究員の採用、大型備品の整備等を行った。

さらに、間接経費及び奨学寄附金による支援等により運営経費の確保を図った。

8 おわりに

この1年を振り返って、各種セミナー・研究会の開催、共同研究・受託研究等の実施、イベント等への出展など忙しい1年であった。施設の訪問者は、開設当初ということもあって延べ3,000人を数え、伊賀研究拠点への関心度の高さが伺えた。

また、「出前授業」や「こども大学」を実施し、子供たちに科学技術に対する興味や関心を深めるのに貢献することができた。

さらに、「伊賀市菜の花プロジェクト」への協力は、1研究テーマとして新技術の開発や品質向上のための研究に取り組むことができ、今後、その成果の活用により地域の新しい産業起こしが期待される場所である。

伊賀研究拠点は歩みを始めたばかりである。地域には様々な課題があり、その解決のため共同研究や受託研究を推進し、地域の活性化に役に立つことを念願するところである。

*活動内容は以下のHPをご覧ください。

<http://www.iga.mie-u.ac.jp>